

平成22年度第2回岐阜県道路交通環境安全推進連絡会議  
「道路交通環境安全調査部会」議事概要

■日時:平成22年12月3日(金)15:00~17:00

■場所:岐阜国道事務所 新電気室 1階会議室

■参加者:

学識経験者 関西大学教授、朝日大学教授

岐阜県警察本部 交通規制課課長補佐、課長補佐

国土交通省 岐阜国道事務所副所長、岐阜国道事務所交通対策課長、多治見砂防国道事務所道路管理課課長、高山国道事務所管理第二課長

■主な議事内容

【議題1】地域の声に基づく選定方法について

- ・ 各道路利用者の意見について、老人クラブ、バス、タクシー、JAF等の傾向分析、また、歩行者とドライバーの意見に分けて分析してはどうか。

【議題2】事故危険区間リストの選定箇所(案)について

- ・ 複数件死亡事故が発生した区間について、死傷事故率が低いから除外するのは適切でない。そのため、リストに挙げて事故発生状況を整理した上で対策実施の判断したほうがよい。
- ・ 事故対策したことによって危険箇所が移動することが危惧されるため、対策検討の際は、同じような構造や交差点が連続する箇所は、一連のゾーンやエリアとして検討することが重要である。

【議題3】今後のマネジメントの取り組みについて

- ・ 交差点対策は、一般の市民から見ると国道と交わる県道や市道も併せて対策してくれると感じると思うが、一体整備をするのか。国道側のみ対策となるのか。
- ・ 総合対策が必要と判断した箇所であれば、同時の事業実施に対応できるように各関係機関に働きかけをする。
- ・ 対策の効果測定には、速度減少や走行車両の整流化など間接的な評価も有効である。
- ・ 代表箇所の50箇所は、事故データ及び地域の声に基づく選定箇所から地域のバランス考慮しながら選定する。
- ・ 事業は、次年度以降実施する予定である。

以上